

## 東京大学大学院薬学系研究科に所属する者以外に関するワンストップ創薬共用ファシリティセンターの利用規約

### 第1条 目的

この規約は東京大学大学院薬学系研究科（以下「本研究科」）に整備されたワンストップ創薬共用ファシリティセンター（以下「本センター」という）、および本センター内に配置された機器類を東京大学大学院薬学系研究科に所属する者以外（以下「研究科外利用者」）が利用し、創薬をはじめとする薬学領域の研究開発の活性化および発展に寄与するに必要な事項を定めることを目的とする。

### 第2条 研究科外利用者が利用できる機器

#### 2-1 共用機器について

本センターに、所定の利用料金を支払うことで利用することができる機器（以下「共用機器」）をおく。共用機器は本センター運営委員会によりこれを定める。これ以外に、管理責任者が認めた場合は、本センターに配置された共用機器以外の機器を使用することができる。

#### 2-2 共用機器の例外

共用機器のうち、本学の複数の研究科からなる連携プログラムの備品として購入した機器については、当該研究科の利用者に限り、申請書提出と利用料金の支払いなしに共用機器を使用することができる。

### 第3条 本センターを利用できる者

#### 3-1 研究科外利用者

研究科外で本センターの共用機器の利用を希望する者は、事前に利用申請書（別紙1）を本センターに提出する。研究科外利用者は、本センター課題選定委員会で利用申請の可否について審議・承認された研究課題の遂行を目的とする場合に限り、本センターの共用機器を利用することができる。

#### 3-2 その他

その他で管理責任者が特に認めた者は、本センターの共用機器を利用することができる。

## 第4条 利用形態

利用申請書の提出にあたり、研究科外利用者は、成果公開を必須とする「成果公開有償利用」、成果公開を必要としない「成果専有有償利用」のどちらかの形態を選ぶ。

## 第5条 利用後の報告

### 5-1 利用成果の報告について

研究科外利用者は、課題終了後1ヶ月以内、または年度末ごとに、本センターを使用して得た研究成果を利用成果報告書の形（別紙2）で報告する義務を有する。成果公開有償利用の利用成果報告書の全部、もしくは一部は本センターのホームページに公開されるとともに、本研究科発行の研究・教育年報に掲載されることがある。

### 5-2 謝辞について

研究科外利用者が本センターを利用して得た成果を外部に発表する場合、本センターを使った成果であることを文中に記すことが望ましい。

参考：本研究の一部は、東京大学大学院薬学系研究科ワンストップ創薬共用ファシリテイセンターを利用して行われた。

This work was performed in part at One-stop Sharing Facility Center for Future Drug Discoveries in Graduate School of Pharmaceutical Sciences, the University of Tokyo.

## 第6条 施設の利用

### 6-1 安全管理について

本センターを利用するにあたっては、利用者は本学の環境安全本部の定める安全マニュアルおよび通達を順守する。

### 6-2 本センターの機器利用について

本センターの機器を利用するにあたっては、管理責任者の指示に従い他の実験に影響を及ぼさないよう配慮すると共に、使用後は周囲を整理し、機器の設定等を当初の状態に戻すこと。利用状況の不適当な者は、本施設および機器の利用を制限、あるいは禁止することがある。

### 6-3 機器の異常・故障について

施設利用中に機器及び施設に異常・故障等が発生した場合、直ちに各管理担当者に連絡すると共に、安全に十分配慮しつつ本学の安全マニュアルに則って速やかに処置を行うこと。機器の異常・故障の原因が、利用者の不適当な取扱いに起因する事が判明した場合は、保守・修理費の一部または全額を利用者に請求することがある。

## 第7条 本センターの利用料金と使用経費について

### 7-1 利用料金について

研究科外利用者は、共用機器利用後に作業報告書（別紙3）を提出し、コピーを受け取る。作業報告書は原本を本センターで保管する。作業報告書に記された利用時間数を基に、本研究科は所定の利用料金を研究科外利用者宛に請求する。利用料金は別紙4に示す1時間あたりの利用料金に利用時間数をかけて算出する。1時間あたりの利用料金は年間の光熱水費・保守点検費・共通性の高い消耗品費の見積額の合計を年間見積使用時間で割ることによりこれを定める。請求書は本研究科・会計チームより発行する。

### 7-2 実験に用いる消耗品およびその廃棄処理

前項の見積額に含まれない消耗品・試薬類等は、研究科外利用者が各自用意するものとする。実験で生じた廃液・廃棄物等は本学安全衛生規約に則り、研究科外利用者がその責任の下に処理するものとする。

## 第8条 本規約の改定

本センターの利用規約は、必要に応じて本センター運営委員会の承認の下に改定することができるものとする。

## 附則

この規約は平成26年6月26日から施行し、平成26年4月1日から適用する。

令和5年4月1日一部改定

以上

別紙1 「利用申請書」

採択日： 令和 年 月 日 受付番号： \_\_\_\_\_

(様式1)

利用申請書

申請日 令和 年 月 日

東京大学大学院薬学系研究科  
ワンストップ創業共用ファシリティセンター長 殿

責任者氏名			
所属・部署職名			
E-mail			
連絡先住所	〒		
電話		FAX	

下記により、利用を申請いたします。

利用区分	成果公開有償利用 (左、リストボックスより選択下さい)		
利用課題名			
研究の概要			
使用装置名	番号	装置名	
使用期間	令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日		
実験予定者	氏名	所属・職名	連絡先 (E-mail)
ご要望	(機器利用法の説明をききたい、サンプルの調製をセンター内でできるかどうか知りたい、利害関係があり審査対象から除外してほしい課題選定委員がいる、などを自由記載)		
確認事項 <small>リストボックスより選択</small>	<input type="checkbox"/> 生命倫理・安全の確保について、所属する機関の長の承認・確認を得ています。		
	<input type="checkbox"/> 危険物の持ち込みは行いません。		
	<input type="checkbox"/> 課題終了後に利用成果報告書を提出し、成果を公開することに同意します。 (成果専有有償利用の方はチェック不要)		

※記載欄に収まらない場合は別途添付でも構いません。かっこ内の文書を削除した後ご記入ください。

別紙2 「利用成果報告書」

(様式2)

承認番号: \_\_\_\_\_

利用成果報告書

提出日: 令和 年 月 日

東京大学大学院薬学系研究科  
ワンストップ創薬共用ファシリティセンター長 殿

責任者氏名			
所属・部署 職名			
E-mail			
連絡先住所	〒		
電話		FAX	

下記により、利用成果を報告いたします。

利用区分			
利用課題名			
研究の概要			
使用装置名	番号	装置名	
使用期間	年 月 日 ~ 年 月 日		
利用成果・ 実績の概要	(簡潔に論文に準ずる形式で作成してください。別紙提出としても可)		
社会・経済への波及効果			
公開延期の希望		(左, リストボックスより選択下さい)	
本事業について		(左, リストボックスより選択下さい)	
	本事業へのご要望を自由にご記入下さい:		

※記載欄に収まらない場合は別途添付でも構いません。かつこの文書を削除したのち、ご記入ください。

別紙3 「作業報告書」

承認番号: \_\_\_\_\_

(様式3)

作業報告書

令和 年 月 日

〇〇〇〇〇〇〇〇

〇〇〇〇〇

〇〇〇〇 様

東京大学大学院薬学系研究科  
ワンストップ創薬共用ファシリティセンター  
〇〇〇〇@

下記の内容で作業報告をいたします。

利用区分		
利用課題名:		
使用装置名	番号	装置名
実施期間	令和 年 月 日 ( : ~ : . 時間)	
作業内容		

作業確認書

東京大学大学院薬学系研究科  
ワンストップ創薬共用ファシリティセンター長 殿

上記作業内容を確認いたしました。

令和 年 月 日

ご署名

\_\_\_\_\_

別紙4 利用料金

	機器名称	利用料金 (円/時間あたり)	
		成果公開	成果占有
1 質量分析	8 micrOTOF	2,800	7,800
	10 フローリアクター(フロー式異相系反応システム)	800	2,200
	11 トリプル四重極質量分析装置	1,200	3,300
2 構造解析	1 核磁気共鳴装置 (NMR, 400MHz)	2,400	6,800
	3 原子間力顕微鏡 (AFM)	1,300	3,600
3 生体機能解析	1 Bio-Plex200システム	2,000	5,700
	2 FACS Aria II, IIIu セルソーター	2,400	5,800
	2 FACS Aria IIIセルソーター	3,000	6,000
	3 細胞選別分取装置 autoMACS	900	2,500
	4 ArrayScan 細胞イメージアナライザー	1,400	3,900
	5 共焦点顕微鏡 SP8	1,000	3,000
	6 クリオスタット	800	1,500
	7 多機能超遠心機、卓上超遠心機	300	800
	8 ChemiDoc Thouch イメージングシステム	400	1,100
	9 タンパク質精製システム AKTAexplorer	800	2,200
	10 BIACORE 分子間相互作用解析装置	2,000	5,600
	11 プレートリーダー ARVOX5	800	2,200
	12 Biomek FXP ラボラトリーオートメーションシステム装置	要問い合わせ	
	13 レーザーマイクロダイセクション	1,200	3,300
	14 ルミノイメージアナライザー LAS4010	400	1,100
	15 シングルセル分注システム CellenONE	2,000	5,700
16 全自動ウエスタンシステム JESS	3,000/run	8,000/run	